

# 2020日本語教育学会秋季大会

## パネルセッション①

# 共生社会のための日本語教育

稲垣みどり（山梨学院大学）

金泰明（大阪経済法科大学）

杉本篤史（東京国際大学）

細川英雄（言語文化教育研究所）

# 本パネルセッションの目的

## ▶ 共生論の枠組みで日本語教育を構想すること

2020春季大会「日本語教育学の輪郭を描く」で発表するために

エントリー→大会は中止、予稿集で発表成立。秋季大会に再エントリー

## ▶ 2019年4月の入管法改正


## ▶ 2019年6月日本語教育推進法 成立

→日本語教育の枠組みはダイナミックに変容しつつある。

どのような社会を目指して日本語教育を実践するのか、  
社会構想としての日本語教育の実践と研究が必要とされている。

# 本パネルセッションの流れ

1. パネル主旨説明（稲垣みどり）
2. 目的論の不在を乗り越えるための共生社会とWell-being  
（細川英雄）
3. 共生社会と二つの人権原理（金泰明）
4. 日本語教育と言語権（杉本篤史）
5. 日本語教育における「本質観取」の実践について（稲垣みどり）



日本語教育のあるべき在り方を「共生社会」の  
実現と措き、言語文化教育、共生論/人権論、  
言語政策/言語権の視点から論じ、最後に  
日本語教育の具体的な実践の事例を紹介

どうぞ最後までご視聴ください